

タイトル：平成 30（2018）年度 教育セミナー（第 14 回）

日時：2018 年 9 月 13 日（木）～16 日（日）

場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 3 階大会議室（303）

「ヴェールを纏う女性たちの語り—現代パキスタン都市部におけるパルダ実践を事例として」
賀川恵理香（京都大学大学院）

本セミナーには今回初めて参加させていただき、3 日目には発表の機会もいただきました。セミナー4 日間を通して得られた成果として、以下の 3 点が挙げられます。

1 点目は、発表を通して自分自身の研究を多様な観点から批判的に検討することができたことです。今回の発表では、40 分という確りした時間枠をいただき、現在執筆中の博士予備論文の内容を報告しました。質疑応答では、様々な専門分野の先生方や受講生の皆様から、多面的な観点からのコメントや質問をいただくことができ、大変勉強になりました。質疑応答の時間も 30 分間確り設けていただいていたので、考察の不十分な箇所や事例と理論の接合方法など、指摘いただいた点に関して十分に議論することができたと感じました。特に発表後は、飲み会でも発表に関するコメントやアドバイスをいただくことができたので、本当に発表の機会をいただけて良かったと思っています。

2 点目は、普段はお会いすることのない先生方から、講義を受けることができたことです。講義の内容は、人類学、歴史学、文学研究、ジェンダー研究など多岐にわたっており、それぞれとても興味深く拝聴しました。講義後の質疑応答の時間も確りと設けていただいていたので、気兼ねなく質問することができました。このように、各専門分野において著名な先生方の講義を、一度に聞くことのできるような機会はとても貴重なものであると実感しました。

3 点目は、異なるバックグラウンドの受講生の方々と交流することができたことです。今回のセミナーにおいては、関西、北陸、関東など様々な場所から受講生が集まっており、その専門とする分野、地域も多種多様で、お話ししていてとても興味深く感じました。特に同じ修士課程にあって、異なる大学、分野の方々と交わる機会は普段ほとんどないので、今回いろいろな方とお知り合いになることができ本当にうれしく感じました。今後もぜひ、今回培ったネットワークを活かしていきたいと思います。

以上、本セミナーの成果として 3 点を挙げさせていただきました。セミナーの感想は、「参加してよかった！」というものに尽きます。博士課程進学後は、是非中東☆イスラーム研究セミナーの方に参加させていただきたくと思っています。

最後に、本セミナーを運営、企画してくださった先生方、事務局の皆様にも多大な感謝を申し上げます。4 日間、本当にお世話になりました。